

# 令和5年度事業計画

## 〇はじめに（事業計画主旨）

令和5年（2023）は、平成5年（2003）の開館から20周年を迎える。当財団は開設以来、並河靖之七宝記念館を設置して、稀代の七宝家・並河靖之と並河七宝の偉業を将来に遺すため、並河靖之七宝記念館での展覧会を中心に、並河靖之および並河七宝工場の製作にかかる有線七宝作品をはじめとする七宝及び関係諸資料の収集、保存、研究を行ってきた。合わせて並河靖之および並河家ゆかりの建造物、庭園とともに公開、活用を行い、日本における七宝の周知と文化の普及につとめてきた。

令和4年度には、これらの活動の充実をはかるため通年で展示公開事業を休止して、登録有形文化財（建造物）旧並河靖之邸主屋保存修理事業および館内施設等の工事を実施し、休館中は館全体で再開後の事業について検討してきた。

当財団の主たる事業である展覧会の展示公開を再開する令和5年度は、文化庁の京都移転による活動開始年度とも重なる。新規活動再開後の当財団の事業を通じて、これまで以上に七宝の工芸、文化の普及と振興に努めるとともに、京都府における文化芸術の向上発展へのさらなる寄与および国際交流の一助を担うべく推進する。

## 1 公開

### (1) 祝 開館20周年・リニューアル 特別内覧会の開催

- ・令和5年4月28日（金）からの春季特別展に先立ち、4月21日（金）に特別内覧会（予約制）を行い、事業再開広報の機会とする。

開催日時：令和5年4月21日（金） 13：30～16：30（終了）

内 容：展示室および庭園、主屋1階の観覧（自由）

保存修復事業内容及び主屋2階、新公開場所等の説明（時間内3回程度）

対 象：財団役員、賛助会会員、主屋修理事業及び各関係者、

京都市・京都府内を中心とした美術館、博物館、教育施設、観光施設、新聞、雑誌等のマス・メディアの関係者を想定する。

## (2) 展覧会の開催

- ・当財団の事業の根幹となる、展覧会事業を再開する。

令和5年度は「祝 開館 20 周年・リニューアル」と冠し、春季・秋季特別展を行う。保存修復事業により堅牢かつ美観を取り戻した内外装も楽しんでいただく。

種 別	会 期	タイトル
春季特別展	令和5年4月28日(金) ～8月13日(日)	祝 開館 20 周年・リニューアル 春季特別展 並河靖之の世界観—七宝と建物
	日数 80 日間	展示点数：約 60 点 趣旨：並河七宝と靖之が住まい暮らしに込めた世界観をご覧ください。
秋季特別展	令和5年9月1日(金) ～12月17日(日)	祝 開館 20 周年・リニューアル 秋季特別展 並河靖之、その人生観—七宝と親交
	日数 78 日間	展示点数：約 60 点 趣旨：並河七宝の製作には、靖之と彼に関わった人々の魅力ある人生があったことをご紹介します。
開催日数合計		158 日間

## (3) 建造物、庭園の公開

- ・国の登録有形文化財並びに京都市の景観重要建造物及び歴史的風致形成建造物指定の建造物や京都市指定の名勝庭園を展覧会にあわせて公開する。
- ・主屋1階は保存修理事業により、従来の襖部分の一部を耐震壁とし、建具などを復元修復した。それに合わせ、最も利用が多い主屋1階の座敷用の空調機器を新たに設置した。隣接室の欄間より送風できるようにし、美観に配慮した。
- ・新たに、従来の観覧順路に庭園の東南部の回廊を加え公開する。屋外の屋根付き施設という特徴を有効に活用し、壁面に庭園や建物に関する展示資料を配置し、見どころを増やす。
- ・新規入館料の設定

事業再開にあたり、より充実した新規事業にも取り組んでいくために、入館料の見直しを行った。大人料金を値上げする一方で、七宝への将来世代への興味と理解を深めてもらう機会を提供できるよう、高校生以下を無料とした。

料金：大人（一般） 1000 円

高校生以下、障がい者手帳をお持ちの方 無料（要手帳等の提示）

学生の方は大人（一般）より 100 円引。（要学生証の提示）

団体（20 名以上）は大人（一般）より 100 円引

\*団体に学生を含む場合は、団体割引のみ適用

#### (4) 主屋 2 階の大広間特別公開

##### ・新規事業

平成 4 年度事業の登録有形文化財（建造物）旧並河靖之邸主屋保存修繕工事による成果の一端として、主屋 2 階の大座敷を展覧会の開催期間中に開催日、定員を設け、学芸員および職員が案内と誘導をして特別公開を行う。特別企画のため一般の入館料とは別途に料金 600 円を設定した。

趣旨：座敷には並河家が所蔵する書画や調度類を設え、並河靖之が七宝業を営み住まい暮らしした時代の並河家の雰囲気に触れ、2 階からの庭園および東山の眺望をご覧いただき、記念館界隈の今昔や明治から昭和の京都の暮らしや文化に興味をもっていただく機会とする。

開催日：春季展開催中不定期の金曜日：午後／土曜日：午前（各 1 回 40 分程度）

秋季展開催中不定期の金曜日：午後／土曜日：午前（各 1 回 40 分程度）

要項：予約制 有料 各回定員 15 名

主屋 2 階の大広間を中心に、新たな公開場所となる庭の回廊について、学芸員及びスタッフによる解説付きで案内をおこなう。

料金：600 円（別途入館料 1000 円が必要）

#### (5) 七宝教室

- ・七宝文化の普及を目的に、七宝教室を開催する。
- ・開催日 令和 5 年 5 月 14 日、28 日、6 月 11 日（各日曜日）
- ・講師 鈴木周子氏
- ・料金：有料（別途入館料 1000 円が必要）

#### (6) 茶会の開催

- ・賛助会員や当財団の活動に関わる皆様と一般の方々を対象に、交流と親睦を目的とした茶会を開催する。
- ・開催日 令和 5 年 11 月 9 日（木）
- ・担当：一般財団 半床庵文化財団
- ・料金：有料（別途入館料 1000 円が必要）

## 2. 収集・保存

- ・令和 4 年度の主屋保存修理事業により、収蔵施設の周辺環境が堅牢となり、合わせて収蔵施設の拡張をはかった。
- ・収蔵品は収蔵施設にて適正・良好に保存し、必要に応じて修理を行う。
- ・並河七宝及び関係諸資料調査を継続し、価値の高い資料の収集に努める
- ・並河靖之や並河家に関する資料の収集を行う。特別公開に合わせた室内調度品とし

て将来的に公開することを目的とする。

### 3. 調査研究・交流

- ・ 館藏品や寄贈・寄託品についての悉皆調査及び目録の作成を継続する。  
令和5年度は並河家から拝借する調度品、書画類を中心に目録を整理する。
- ・ 並河家伝来の美術工芸品や寄託された資料についての研究を行う。
- ・ 国内外における並河靖之の七宝についての所在確認調査を行う。
- ・ 建築や庭園について、当時の使用方法や歴史的変遷などの調査研究を行う。
- ・ 清水三年坂美術館をはじめとした各関係機関と七宝に関する研究会を継続する。
- ・ 「記念館だより」を発行する。

### 4. 広報など

- ・ ホームページ  
来館者がより情報を取りやすく、利用しやすい内容となるよう刷新する。
- ・ ポスター及びチラシ  
令和5年度は、「開館20周年」「リニューアル」等の文言を入れ新たなスタートを始めたことを強調し、来館への意欲を誘う。  
他の美術館、博物館、教育施設、観光施設等を通じて広く広報する。
- ・ その他、財団及び記念館の目的・事業に適合する活動を行う